

## ふくしま生き物調査発表会 2012 の報告

ふくしま県民の森フォレストパークあだたら（安達郡大玉村）のレクチャーホールで毎年12月に開催されています「ふくしま生き物調査発表会」が2012年12月16日（日）に開催され、プロジェクトのメンバー及びその研究室の大学院生・学類生等21名が参加しました。一般の参加者は森の案内人を中心に約20名でした。

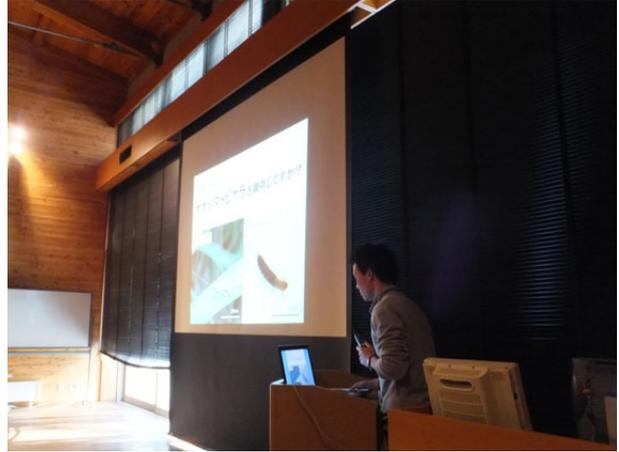
難波研究室の4年生（野上くん、丸山さん）、黒沢研究室の大学院生（根本さん）・3年生！（猪瀬さん・加藤さん）、塘研究室の大学院生（大平くん）・4年生（志賀さん、増渕くん）、そして特任助教の兼子さんによる8題の発表があり、森の案内人など県内の自然愛好家の方々から基本的な質問、専門的な鋭い質問、今後に関する要望、そして暖かい激励のお言葉をたくさん頂きました。お昼は立食形式のサンドウィッチ・パーティーで、参加した学生たちは一般の参加者と意見交換するなど、交流を深めていました。



レクチャーホールに集まった参加者（左）と4年生の野上くん（難波研究室）による「阿武隈川河川水懸懸物中の放射性セシウム」の発表（右）



3年生の猪瀬さん・加藤さん（黒沢研究室）による「長い距のスマレは日本と北米で独自に進化した？ ～ナガハシスマレのDNA解析～」の発表。発表会は6回目ですが、3年生による発表は初です！



お昼を兼ねた意見交換会の様子（左）と大学院生の大平くん（塘研究室）による「福島県裏磐梯地域のオオシマトビケラ（昆虫綱：トビケラ目）」の発表（右）



4年生の志賀さん（塘研究室）による「福島県内の山岳域におけるアザミウマ相（昆虫綱：アザミウマ目）」の発表中の採集方法実演（左）と特任助教の兼子さんによる「数えて，量って，論文を書こう ～市民による絶滅危惧植物の保全生態学研究～」の発表（右）